

S660 ステアリングスイッチ移設ハーネス取扱説明書

はじめに

この度は、S660 ステアリングスイッチ移設ハーネスをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ず本説明書を全てお読みいただき、記載された内容に従ってお使いください。

- この製品は、S660MT 車両への搭載を前提に開発されています。CVT 車両の場合、パドルシフトなど含む機能確認を実施していません。
- ステアリング本体、ステアリングボス、ホーンリングなど、取り付けに必要な部品は別途ご用意頂く必要があります。
- 取り付けにはコラムカバーへの穴あけ加工が必要となります。
- 最新の情報については、本書末に記載のホームページアドレスを参照いただき、不明点がありましたら問い合わせください。
- 車両からの部品取り外し、取り付けの際にはケガには十分ご注意ください。
- 作業の際には必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。
- 取り付けは、専門の方の指示・指導の元で実施、あるいは、専門店での取り付けを依頼してください。
- ステアリングボスは、ワークスベル <https://www.worksbell.co.jp/>社製の製品をお使いください。ワークスベル社製のホーンハーネスの使用を前提に設計しています。それ以外のメーカーの場合、ホーンが鳴動しない可能性があります。
- 車両適合については、適宜確認を行っておりますが車両によってはピン配列が異なることがあります。
参考) S660α、βともに動作する設計としていますが、本製品は、クルーズコントロール+オーディオスイッチ対応のハーネスは S660α前期センターディスプレイ無し、オーディオスイッチのみ対応のハーネスは S660β後期で動作確認を実施しています。

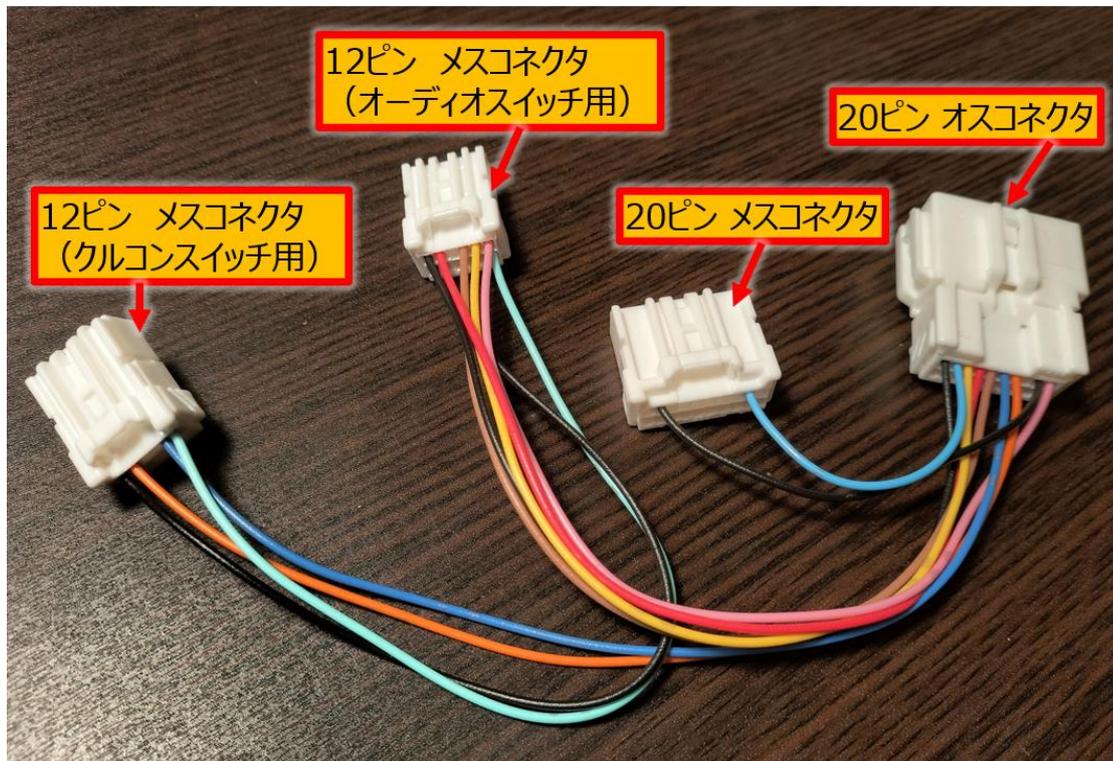
安全上のご注意



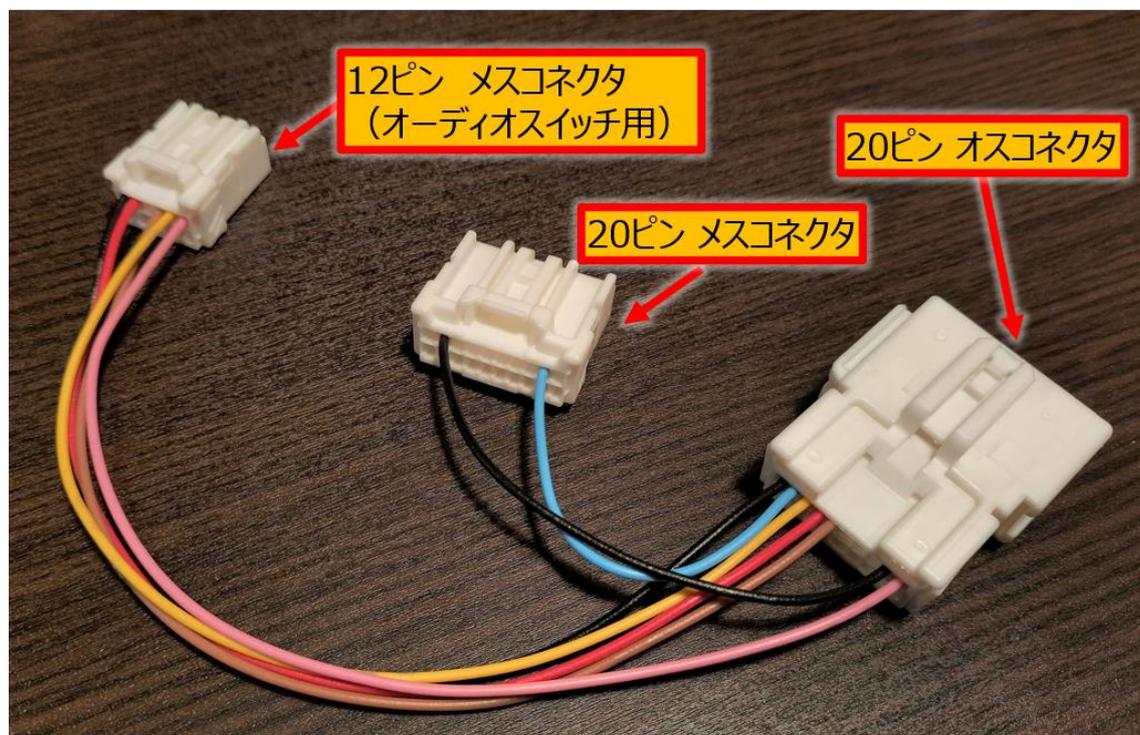
お客様や他の人に対する身体および財産への損害を防止するため、本説明書に記載の内容を必ずお守りください。この説明書に記載の事項を守らないと、本製品および接続された車両からの発煙・発火や、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品の名称

S660 ステアリングスイッチ（オーディオ&クルコン）移設ハーネスの各部の名称は以下の図の通りです。



S660 ステアリングスイッチ（オーディオのみ）移設ハーネスの各部の名称は以下の図の通りです。



製品の用途と保管

危険

本製品を、本田技研工業株式会社製、S660 のステアリングスイッチを移設する用途以外に使用してはいけません。本製品を加工してはいけません。また、本製品は幼児の手の届かない場所に保管してください。

取り付け、および使用に関する注意点

危険

- コネクタの挿抜の際には、必ずロックピンを押した上でコネクタを持って行ってください。電線を持ってコネクタを引き抜くと、コネクタからピンが抜け、あるいは電線被覆が破損してショートにつながる可能性があります。
- 取り付け後、電線（特にコネクタの付け根）にねじれが無いこと、無理な力がかかっていないことを確認してください。
- ヒューズボックスに純正のヒューズ容量を超えるヒューズを使用してはいけません。万が一、車両および本製品がショートしたときに車両ヒューズが溶断せず、重大事故に至る可能性があります。

注意

- 本製品の取り付け前に被覆・コネクタ・コネクタピンに破損が無いことを確認してください。破損した状態で製品を使用すると、ショートが発生する可能性があります。
- 取り付けの際には、コードが金属部に触れたり、他の部品と干渉したりする事がないように取り付けを行ってください。
- ステアリングコラムのチルト（上下位置調整）機構、ステアリングケーブルリールの回転部に電線が触れていないことを確認してください。
- 配線コードの被覆を加工して、他の機器の電源を接続してはいけません。
- 車両取り付け後、振動によるコネクタピンや配線の破損を防ぐために、コネクタ部分を車体に固定してください。
- 取り付け後、走行環境によっては、車両振動によりピンの破断や断線・ショートが発生する可能性があります。定期的な配線の破損やピンの抜け、コネクタ部分の異常を確認してください。
- 走行中は前方不注意とならないように、必ずステアリングスイッチ操作を習熟してからご使用ください。

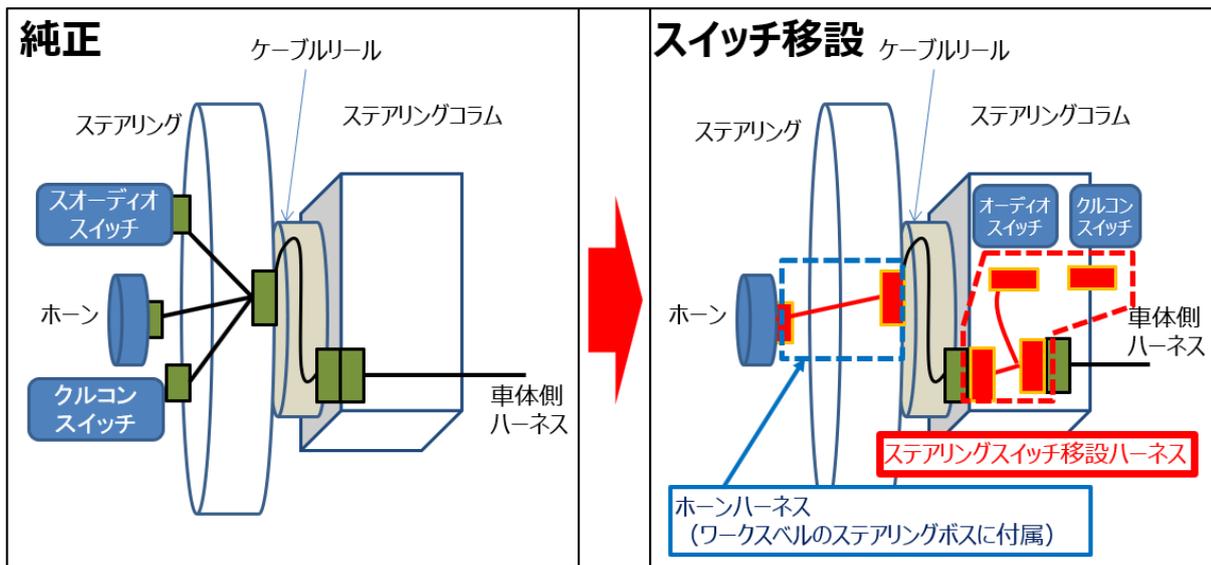
- 万が一異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。
- 本製品の取り付けが完了したら、他の車両部品を取り外し・再取り付けの際にはその法規適合性および電装品の動作が正常かを確認してください。

取り付け方法

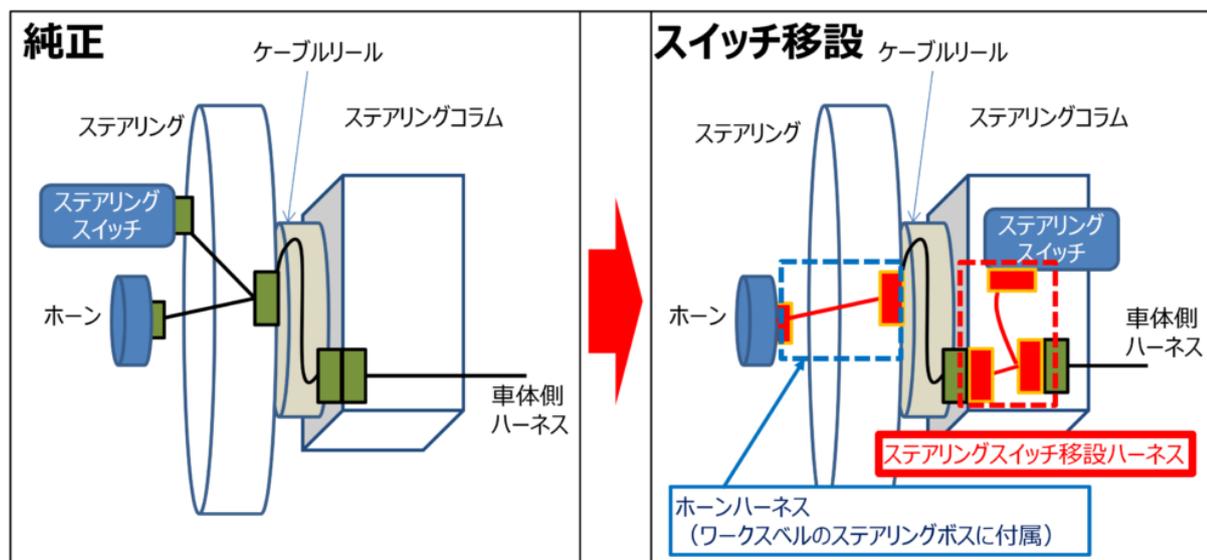
【概要】

純正のハーネスに割り込ませて、オーディオのステアリングスイッチをステアリングコラムカバーに移設します。

S660 ステアリングスイッチ移設ハーネス（オーディオ&クルコン）の場合

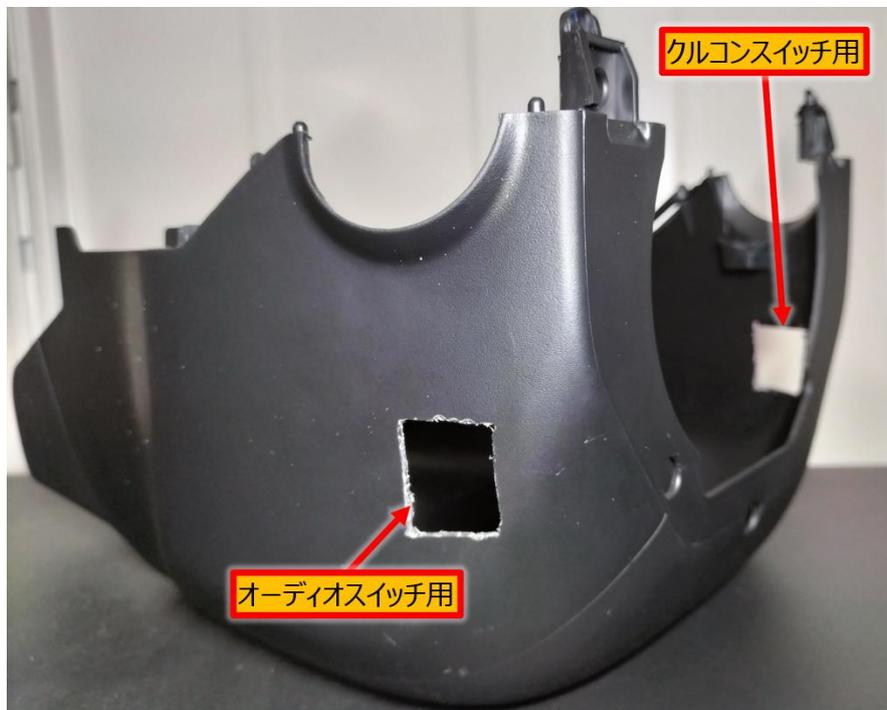


S660 ステアリングスイッチ移設ハーネス（オーディオ）の場合



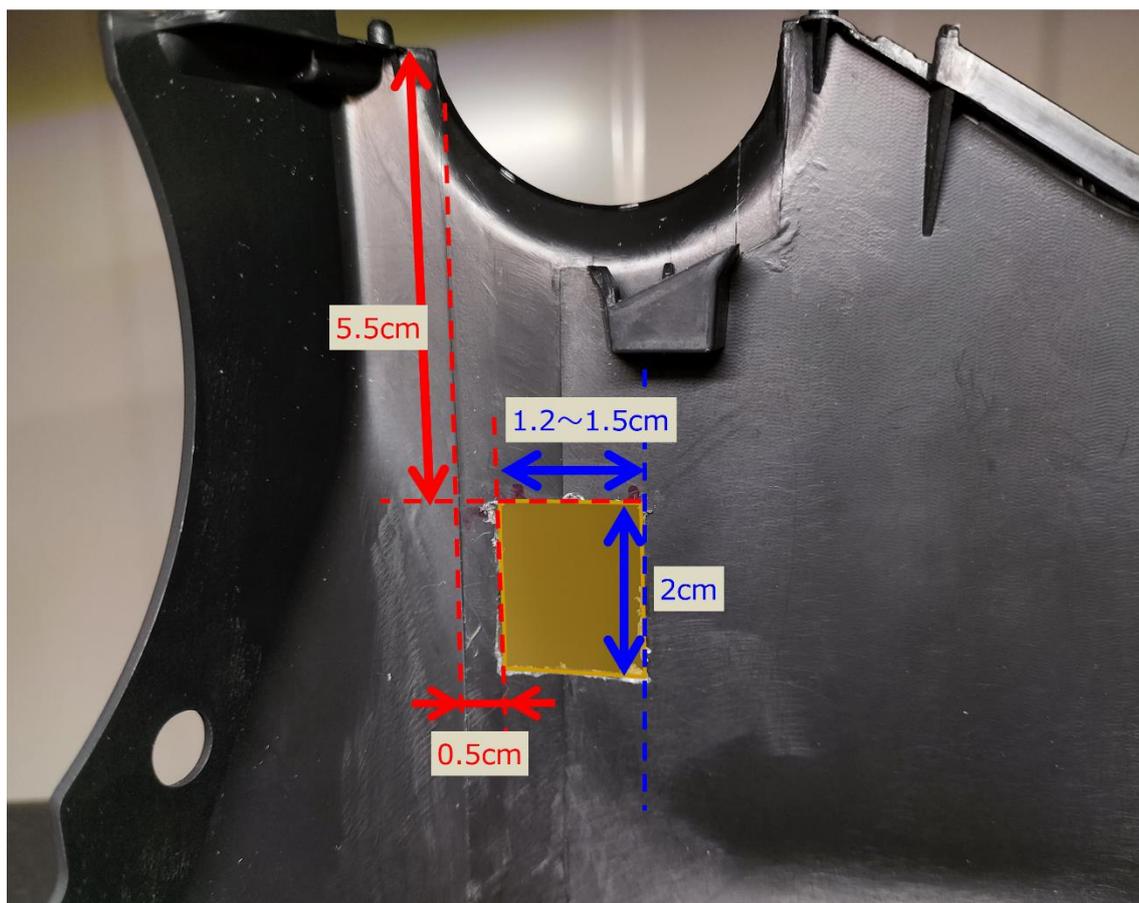
【ステアリングコラムカバーの加工】

ステアリングスイッチを貼り付けるため、ステアリングコラムカバーを加工します。オーディオスイッチの場合はドライバ席から見て左側に、オーディオ & クルコンの場合はステアリングコラムカバーの左右に穴あけ加工をしてください。



穴あけ加工の位置は、次ページの図を参考にしてください。

下図はステアリングコラムカバーを内側から見た図。下図の寸法でステアリングコラムカバーに穴あけ加工をしてください。



上記寸法よりも車両前方にスイッチが来るように加工してしまうと

- ・取り付けの際にクルコンスイッチがステアリングコラムのキーシリンダーに干渉
- ・チルトした際にスイッチが内装に干渉

してしまいます。もし干渉した場合、適宜穴を広げるなどして、干渉がないように修正してください。

穴あけ後、スイッチを内装用の強力両面テープを使用して取り付けます。



【ステアリングスイッチハーネスの取り付け】

①ステアリングのケーブルリールに繋がっている下図の 20 ピンコネクタ（赤○）を抜き、S660 ステアリングスイッチ移設ハーネスの 20 ピンオスコネクタを接続します。



②ケーブルリールに S660 ステアリングスイッチ移設ハーネスの 20 ピンメスコネクタを接続します。

③断線やピンの抜けを避けるため、「[配線止めマウント](#)」（例：エーモン(amon) 配線止めマウント（耐熱・耐候素材 66 ナイロン採用）VHB 両面テープ付 貼り付け用 2953）を下図のように、キーシリンダーに貼り付け、20 ピンコネクタをタイラップで固定します（下図の製品は、試作品のため電線の色が本製品とは異なります）。

取付時、電線に無理に曲げたり、常に力がかかった状態で取り付けしたりすると、コネクタからピンが抜け、ショートする恐れがあります（特に、20 ピンのホーン配線がショートすると、ホーンが鳴りっぱなしとなる場合がありますので注意して下さい）。



④オーディオスイッチとクルコンスイッチを接続します。

⚠ 危険

S660 ステアリングスイッチ移設ハーネス（オーディオ&クルコン）の場合、オーディオスイッチとクルコンスイッチの形状が同じであるため、接続間違いに十分注意してください。12ピンメスコネクタのうち、4本電線が出ているものがクルコンスイッチ用です。



⑤コラムカバーを元に戻します。

動作確認

取り付け後、以下を確認してください。

- ・ステアリングをチルトさせたときに、スイッチが内装に干渉しないこと
- ・スイッチが全て動作すること。
- ・ホーンが正常に鳴動すること。
- ・警告灯が新たに点灯しないこと。



参考情報

【ステアリング交換方法】

<https://kurumashikou.com/s660-steeringwheel-change-nardi340mm/>

【スイッチ移設ハーネスの取り付け方法】

<https://kurumashikou.com/s660-relocate-steering-switch/>

これらの情報は、以下の運営者ポリシーをご理解の上、ご活用ください。

<https://kurumashikou.com/about-kurumashikou/>